

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 提言の要旨 | 1 |
| I はじめに | 2 |
| II 現状分析 | |
| 1 海老名市の都市計画 | 2 |
| 2 市街化調整区域における無秩序な開発の経緯及び現状 | 3 |
| 3 国内の類似地区における市街化調整区域の開発状況 | 4 |
| 4 中心市街地の整備計画 | 4 |
| 5 緑あふれる田園都市を目指す理由とまちづくりの考え方 | 5 |
| III 課題 | |
| 課題1 田園風景を確保する方策 | 7 |
| 課題2 農地を維持するための営農者の後継者問題 | 8 |
| IV 施策の提言 | |
| 提言1 水田と中心市街地を調和させる具体的な方策 | 9 |
| 提言2 地域農業の担い手確保の方策 | 13 |
| おわりに | 14 |



提言の要旨

魅力あるまちづくり

～水田・緑と中心市街地が調和したまちづくり～

背景

- ◇ 市街化区域に隣接する市街化調整区域等では、計画的でない農地転用、スプロール開発等により、農地が虫食的に宅地化され、都市と農地との混在が問題
- ◇ 「都市と農地」が共存した市街地形成のあり方を研究

海老名市の現状

- ◇ 中心市街地縁辺部や幹線道路沿道の市街化調整区域において、無秩序な宅地化や駐車場の造成が行われている
- ◇ 中心市街地整備が更に進展することで、更なるスプロール化が懸念される
- ◇ 「都市的土地利用の促進」と「連担した農地・緑の確保」が両立したまちづくりを誘導するため、「地区計画制度」の導入を検討

目指すべき姿

都市と農地の調和がとれた「緑あられる田園都市」

課題

- 課題1 田園風景を確保する方策として、住民が積極的に参画し、住みよいまちづくりを推進するための組織づくりが必要
- 課題2 営農者の高齢化、後継者不足の現状を踏まえ、農地維持を図るため、担い手の確保が課題であり、地域ぐるみで取り組みが必要

提言1

水田と中心市街地を調和させる具体的な方策

- ・地区住民によるまちづくり提案（地区計画）の策定
- ・住民が参画した住みよいまちづくりの推進

提言2

地域農業の担い手確保の方策

- ・空き農地情報バンク制度の導入
- ・NPO 法人等による農地リースの促進
- ・集落営農組織の設立

水田・緑と中心市街地が調和したまちの創出